

# 見沼自然散策 2018.7.4



カラムシ



お盆用品



マコモうま

七夕にはマコモうまを飾り、お盆にはカラムシの芯の「芋殻」を迎え火で焼き、マコモで編んだ籠の上に胡瓜と茄子で作った馬と牛を飾る。



葉に集まるアリ

アカメガシワの葉には蜜腺があって、アリが来る。アリは葉の上をくまなく歩くので、アカメガシワは蜜を出すことで葉を食べる虫から守られていると考えられる



ヒメガマ



宿題：



ショウジョウトンボ雄



ショウジョウトンボ雌

ウスバキトンボは熱帯で生まれ、北へと旅をする。世代交代を繰り返しながら、さらに北へと進み、7月くらいに関東に到達。秋になって寒くなると死に絶える。一方通行しかできない種。



ウスバキトンボ



ウチワヤンマ

ウチワヤンマは水辺の見晴らしのよいところに止まる。チョウトンボは高いところをひらひら飛ぶ。コシアキトンボのメスは木の中で休む



チョウトンボ



コシアキトンボ雌



コガネグモ 腹側



コガネグモ



ジョロウグモ幼体

クモはまだ、ジョロウグモは小さい。巣の張り方に特徴がある。巣を張るクモの多くは頭部を下にし、腹側を見せている。